

# 付替県道大津信楽線 完成の喜びの声

## 地域間交流が活性化し 新たな経済効果を発現!

大戸川河川開発促進協議会会長  
大津市長  
佐藤 健司 氏



今般、付替県道大津信楽線が開通されましたこと、心よりお慶び申し上げます。地元住民の皆様のご理解、ご協力も、国土交通省様をはじめ工事関係者の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表します。当該道路の整備によりまして、全線2車線となり走行安定性が向上し、災害時の代替路として、地域の安全性が向上するとともに、県内外の物流ルートとして地域経済の活性化並びに観光交流においても一層促進されることを期待しております。

## 付替県道大津信楽線開通 おめでとうございます

甲賀市長  
岩永 裕貴 氏



付替県道大津信楽線の開通、誠にありがとうございます。国土交通省、滋賀県並びに本事業を推進いただいた皆様には、多年にわたる難工事を完成いただき、敬意と感謝を申しあげます。生まれ変わった本道路は、甲賀市の発展に欠かせないものであり、移動時間の短縮はもとより、地域振興や地域産業の活性化、防災など様々な効果が期待されています。引き続き大戸川ダム整備など皆様と共に安全で安心な地域づくりに取り組んでまいります。

## 付替県道大津信楽線の開通、 おめでとうございます

栗東市長  
竹村 健 氏



山間部で大規模ローンを活用するなど、難工事でありました大津信楽線の付替道路が完成されたことについて、先ずは大変喜ばしく思います。大戸川ダムは流域住民の生命・財産を守るとともに、今後、ダム本体工事に伴って栗東信楽線との付替・接続がされることにより、大津市、甲賀市と栗東市とのアクセスが向上し交流が活発化すること、また、ダム周辺が観光資源としても活かされるよう、本体工事の一日も早い完成を期待しています。



## ダム本体工事の着実な前進の慶喜

待ち望んでいた大津信楽線の付替道路の開通を大変喜んでおります。開通により、ダム本体の着工の大きな足掛かりとなり、早期の整備に向けての着実な前進と受け止めています。加えて、安全で、より快適で便利になった道路の開通により、地域の振興・大いなる発展に寄与するものと、期待しています。国土交通省、滋賀県をはじめ関係各位の御尽力に深甚なる感謝とし、御礼を申し上げます。



## 大戸川ダム着工に向けた 県道大津信楽線の完成を祝して

付替県道大津信楽線が開通される運びとなり、おめでとうございます。本線は大津市から当集落を経由して甲賀市に通じる防災機能を備えた幹線道路であり、ダムの早期実現を要望してきた直下の集落として、この上ない喜びであります。ダムが1日も早く完成し、地域のインフラ整備と共に人と自然が共生する災害のない未来への架け橋となるよう、一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。



## やっとできた大津信楽線

大戸川ダム事業により我々移転住民は、1300年の歴史ある地からの移転を決断して、四半世紀が過ぎました。近年の全国的な水害発生もあり、昨年よりダム事業がやっと動き出し、準備工事の付替県道大津信楽線が開通したことは非常に喜ばしいところであります。引き続き、ダム本体工事を進めて頂くとともに、旧大鳥居集落地の地域振興策や栗東信楽線等のインフラ整備を進めて頂きたいと思っております。



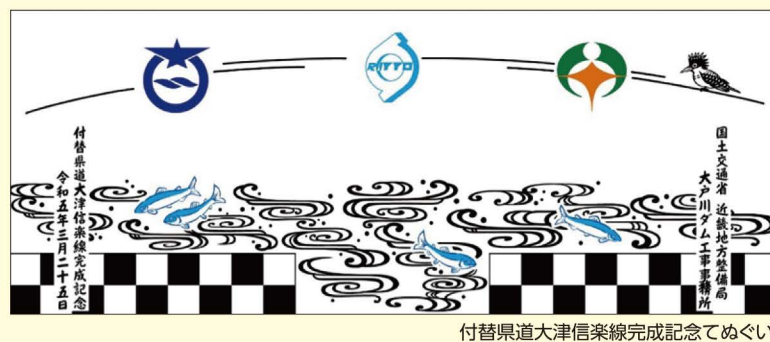
## 新たな生活文化の創造に寄与

信楽は良材の産地で、大戸川を下り奈良や京都へと運ばれた。黄瀬地区の名は木材を筏に組む「木の瀬」に由来する。川に沿って開かれた道は県道大津信楽線と命名されてからも、住民は昔ながらに「田上道」と呼び称した。抜本的な改築が計画により半世紀、トンネル案もあつたが生活道路であるためオープンカット工法を希望した。難工事を乗り越え開通を迎えたことを後世への誇りとしたい。

## 地域の想いをつなぐ～

### 付替県道大津信楽線の完成記念てぬぐい

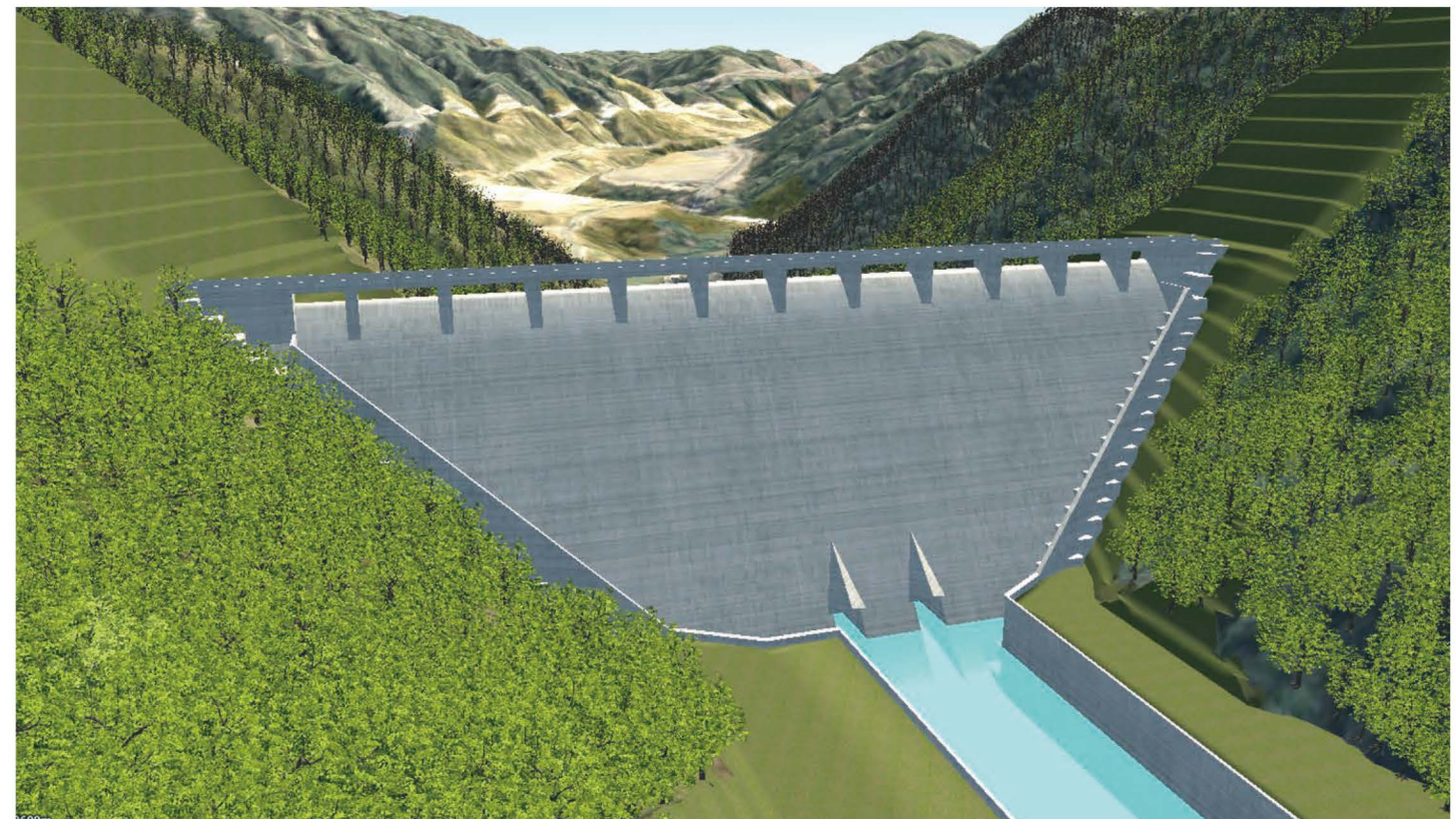
付替県道大津信楽線の完成を記念して、大戸川ダムが建設される大津市田上地域の伝統的な「田上手ぬぐい」を参考に作成しました。流水型ダムとして計画されている大戸川ダムを松模様、ダムを行き来する鮎を流水模様の中に表現し、大戸川ダムの上を通過する、大津市・栗東市・甲賀市までを繋ぐ付替県道大津信楽線をデザインしました。



# 大戸川ダム本体建設工事が始まっています

## 大戸川ダムは洪水調節専用の流水型ダムへ

大戸川ダムは、旧計画の多目的ダムから洪水調節専用ダムに変更し、新たに調査・設計を進めています。計画の変更でダムの位置を見直したことで、ダムの規模を小さくし、コスト削減を図ります。さらに、洪水時のみ一時的に水を貯留する流水型ダムとして整備することで、平常時はダム整備前の環境とほぼ変わらないため、さまざまな負荷を軽減することができます。本体工事については環境への影響をできるだけ回避・軽減するために環境調査などを行った上で実施します。



※ダムの形やゲートの配置などは、今後の検討により変更する可能性があります。

## 大戸川ダム 主要諸元・能力

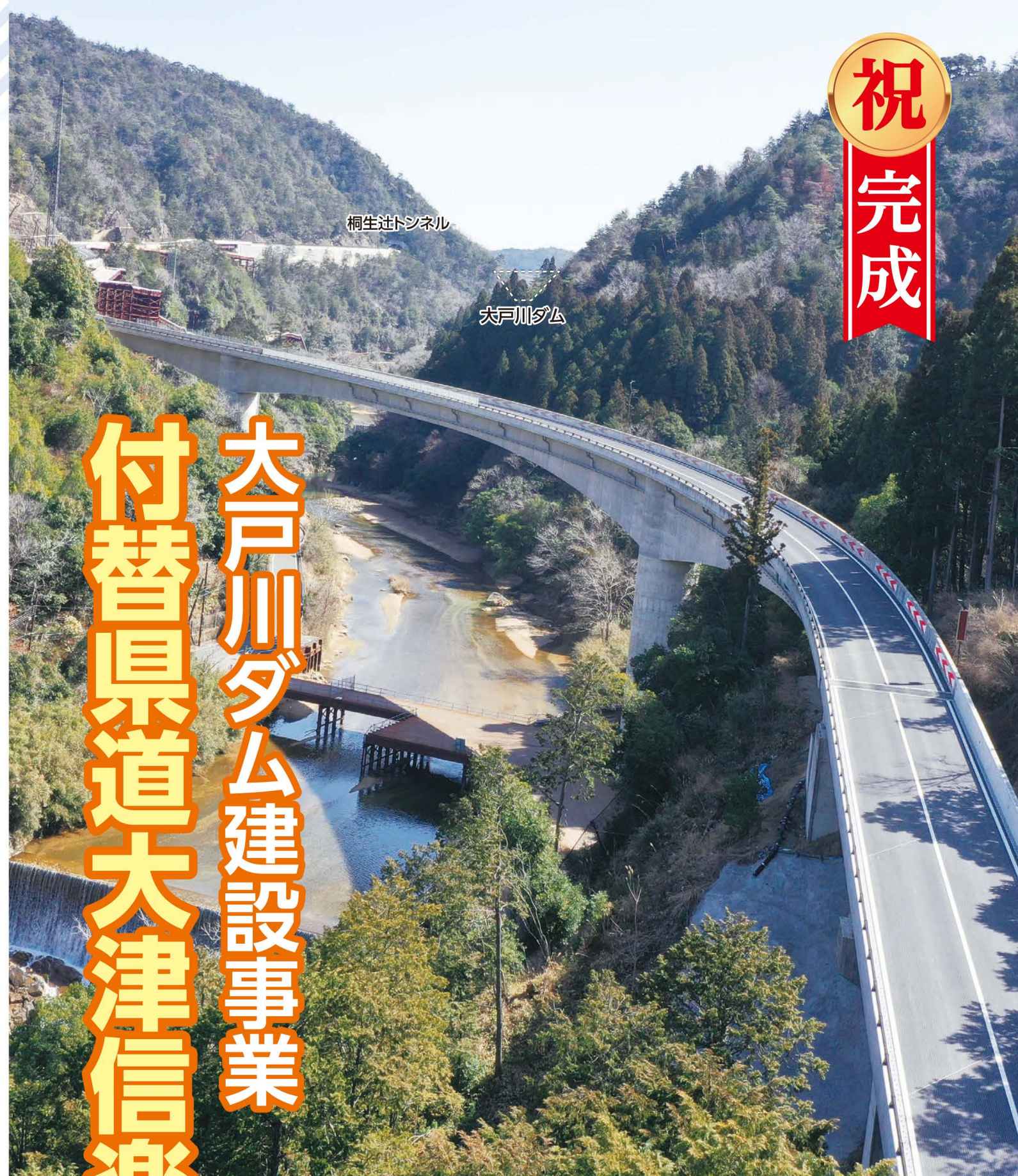
|          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 目的       | 洪水調節                           |
| 堤長       | 約67.5m                         |
| 堤長幅      | 約200m                          |
| 湛水面積     | 約1.2km <sup>2</sup>            |
| 集水面積     | 約152km <sup>2</sup>            |
| 洪水調節方式   | 280m <sup>3</sup> /s<br>— 定量放流 |
| 総貯水容量    | 約2,210万m <sup>3</sup>          |
| 洪水調節容量   | 約2,190万m <sup>3</sup>          |
| 堆砂容量     | 約20万m <sup>3</sup>             |
| ダム設計洪水流量 | 2,100m <sup>3</sup> /s         |

|       |   |   |
|-------|---|---|
| ダムの種類 | 流水型ダム(大戸川ダム)  | 貯水型ダム   |
| イメージ図 |   |   |
| 洪水調節  | 平常時は水を貯めず、川の水をそのまま流し、洪水時のみ、一時的にダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流します。 | 平常時は流水型ダムと同じように、ダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流しますが、平常時は利水のための水が貯まっています。 |

詳しい情報はホームページをご覧ください <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>

国土交通省 近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所  
〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32 TEL.077-545-5675 FAX.077-543-5340



# 付替県道大津信楽線 大戸川ダム建設事業



# 大戸川ダム建設事業

## 県道16号大津信楽線のあらまし

大津市内から大戸川沿いを経て、甲賀市信楽町を結ぶ県道16号大津信楽線は滋賀県南部の重要な幹線道路となっています。大戸川ダム建設に伴い、現在の県道が洪水時のダム貯留により水没するため、その影響を受ける区間を付け替える必要があり、平成11(1999)年度より、付替県道工事を進めてきました。平成20(2008)年度に策定された淀川水系河川整備計画では、水需要の変化による利水者の撤退等もあり、大戸川ダムは洪水調節専用の流水型ダムとして計画を変更するもの、「ダム本体工事については、中・上流部河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら実施時期を検討する」こととなり、ダム事業としては一旦凍結しました。しかし、「これまで進捗してきた準備工事である県道16号大津信楽線の付け替え工事は交通機能を確保できる必要最小限のルートとなるよう見直しを行うなど徹底的にコスト削減をした上で継続して実施すること。」と決定したことから、平成21(2009)年度に計画を見直し工事を進めてきました。



## 付替道路計画の変遷

|                 |  |
|-----------------|--|
| 平成11(1999)年 6月  | 付替県道大津信楽線起工式   |
| 平成14(2002)年 8月  | 桐生辻トンネル完成  |
| 平成16(2004)年 11月 | 付替事業に伴う工事用道路(綾井橋～焼野橋間)供用開始   |
| 平成17(2005)年 3月  | 24号橋[桐生辻大橋]完成 付替事業に伴う工事用道路(桐生辻～大鳥居間)供用開始                               |
| 平成22(2010)年 3月  | 付替県道工事は淀川水系河川整備計画を見直し<br>●桐生辻トンネル下流側のルート変更 ●県整備区間を延長 ●第3種2級→第3種3級(歩道無) |
| 平成24(2012)年 8月  | 桐生辻トンネル下流部の新ルート工事着手  |
| 平成25(2013)年 2月  | 33号橋[大鳥居橋]完成   |
| 平成30(2018)年 1月  | 新3号橋[牧町天空大橋]完成式典   |
| 令和元(2019)年 5月   | 牧町天空大橋が土木学会関西支部技術賞を受賞  |
| 令和元(2019)年 8月   | 付替県道(滋賀県区 焼野トンネル)供用開始  |
| 令和5(2023)年 3月   | 付替県道大津信楽線完成、供用   |

## 当初計画

ダム建設に伴う現道の機能補償と道路管理者が計画する整備ルート(新名神高速道路の側道)との整合を図ること、また、ダムの高さやサイトの位置から、右岸の山間を貫く山岳ルートを採用。道路規格は3種2級とし、将来の通行量の増加を考慮し、一般部の総幅員を歩道も合わせて12.0mとする付替道路を計画しました。



## 見直し計画

ダムサイトが約900m上流へ移動したことで、付替県道の整備済区間から比較的緩やかな地形の大戸川1左岸に渡河し、道路管理者の既着手区間に接続させる経済的なルートに変更。道路構造令改正により、道路規格を3種3級に見直し、歩道事業をとりやめ、一般部総幅員7.5mの計画に見直ししました。



国土交通省 近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所

# 付替県道大津信楽線

## 難工事を伴った、県道16号大津信楽線

道路計画の見直しに伴い、平成24(2012)年度より、桐生辻トンネル下流区間の工事に着手。山岳部における道路工事であり、仮橋の設置及び落石防護を行いつつ、コスト及び安全に配慮しながら工事を進めたため、転石対策に時間を要した難工事となりました。

令和3(2021)年8月も集中豪雨による土砂崩れが発生し、付替県道工事現場の被害だけでなく、現道においても約4ヶ月間通行止めとなりました。今回の付替工事によりこれらも改善され、防災対策につながる安全な暮らしを支える道路として期待されています。

開通後は、滋賀県が県道16号として管理します。



## 県道16号大津信楽線の整備効果

### 離合困難箇所の解消

現道大津信楽線は、交通量が多く(約5,000台/日)、地形上の制約から道路幅が狭く、対向車間の離合が難しい箇所が多く、朝夕のラッシュ時の慢性的な渋滞等交通混雑が発生していました。

### 落石などの事故の回避と通行止め解消

過去には落石による死亡事故が発生しており、連続雨量90mmでは通行止めとする措置が取られていました。平成25年台風18号では落石で通行止めになる被害が発生していました。

### 整備効果

付替県道大津信楽線は、2車線に拡幅され、安全性が向上します。離合の不安も解消され、大津市～甲賀市間の生活道路として所要時間も短縮されます。

### 整備効果

落石や豪雨による通行止めが無くなります。付替県道大津信楽線では安全対策と道路法面の安定化を図り、崩壊しやすい場所について法枠を設置するなど快適さと安全性を確保しています。

## 道路計画諸元(国施工区間)

事業名 滋賀県道16号大津信楽線  
 事業区間 滋賀県大津市上田上牧町～甲賀市信楽町  
 延長 7.1km  
 道路規格 第3種第3級  
 車線数 2車線  
 設計速度 50km/h

## 構造物(トンネル)

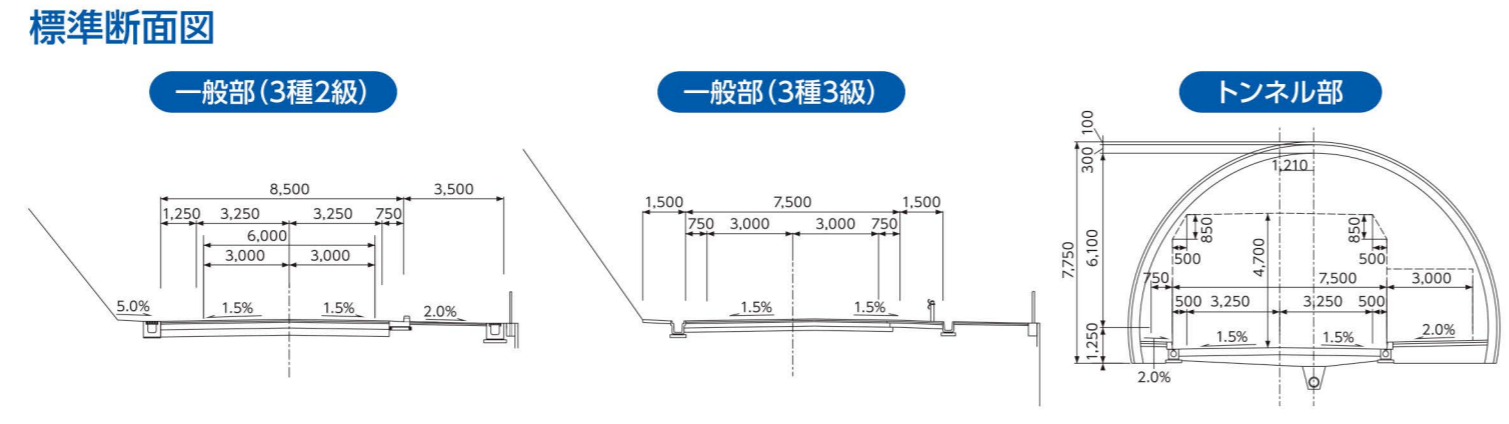
| 名称      | 延長(m) | 幅員(m) |
|---------|-------|-------|
| 桐生辻トンネル | 414.0 | 7.5   |

### 構造物(橋梁)

| 橋梁名          | 橋長(m) | 全幅員(m) |
|--------------|-------|--------|
| 新1号橋         | 15.7  | 10.2   |
| 新2号橋         | 77.5  | 7.7    |
| 新3号橋(牧町天空大橋) | 267.0 | 7.7    |
| 新4号橋         | 50.0  | 9.9    |
| 新5号橋         | 51.0  | 7.7    |
| 新6号橋         | 64.0  | 9.1    |
| 新7号橋         | 72.0  | 8.5    |
| 新8号橋         | 56.5  | 7.7    |
| 24号橋(桐生辻大橋)  | 385.0 | 12.0   |
| 25号橋         | 55.0  | 13.0   |
| 26号橋         | 31.5  | 13.1   |
| 27号橋         | 26.0  | 8.3    |
| 28号橋         | 43.6  | 8.3    |
| 29号橋         | 41.2  | 8.3    |

| 橋梁名        | 橋長(m) | 全幅員(m) |
|------------|-------|--------|
| 30号橋       | 20.0  | 12.5   |
| 33号橋(大鳥居橋) | 132.0 | 7.7    |
| 34号橋       | 63.5  | 12.5   |
| 35号橋       | 127.5 | 11.2   |
| 36号橋       | 30.5  | 12.5   |
| 37号橋       | 58.0  | 12.5   |
| 38号橋       | 105.0 | 12.0   |
| 39号橋       | 40.0  | 13.0   |
| 40号橋       | 29.0  | 13.8   |
| 41号橋       | 27.0  | 12.5   |
| 42号橋       | 16.0  | 12.5   |
| 43号橋       | 20.0  | 12.5   |
| 45号橋       | 70.0  | 12.8   |
| 47号橋       | 12.0  | 12.5   |

# 付替県道大津信楽線道路図



### 付替県道大津信楽線の管理について

付替県道大津信楽線は大津市と甲賀市を結ぶ東西の道路として開通しますが、南北を結ぶ県道12号東信楽線には現在接続していません。そのため、付替県道大津信楽線が東信楽線に接続するまで、滋賀県が現在の大津信楽線と付替県道大津信楽線の2路線を管理します。

※東信楽線方面及び甲賀市田代方面など東信楽線を通行する場合は、現道をご利用下さい。